

令和7年度 授業改善推進プラン 生活科

学年	観点別		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1年	・校内の木々やビオトープ、多摩川の河川敷などの身近な自然と触れ合うことで、四季の変化に気付き、その特徴を生かして、自分たちの遊びや生活に取り入れたり、楽しんだりすることを通して自然の面白さに気付けるようにする。 ・家庭生活の中で自分のできることを考えたり、実行したり、感想を聞いたりする機会を通して、自分も家庭を構成しているかけがえのない一員であることや、自分が家族に支えられていることに気付けるようにする。	・1学期から2学期にかけて、あさがおを育て、変化や成長の様子を調べたり、変化の様子を想像したりしながら関わり、感じたことや考えたことを振り返りながら表現することができるようにする。 ・多摩川台公園で拾った木の実や、季節の自然物を用いて、それぞれの特徴を比べたり、他の物に見立てたりしながら楽しい遊び方を考えることができる。	・学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々や社会との関わりについて考えたり、継続的に役割を果たして生活をしようとすることができるようにする。 ・映像教材や、タブレットアプリ「オクリンクプラス」を活用して、視覚的に学んだり、繰り返したりすることで、気付きを得られるようにする。
2年	・町探検(商店街、京急雑色駅、多摩川)など、地域の人と関わる活動や体験を多く取り入れ、人とのつながりや自分のよさに気付き、意欲と自信をもって生活できるようにする。 ・多摩川での自然さがしや校内での植物育成等、身近な自然と触れ合うことで、四季の変化に気付き、自分たちの遊びや生活を工夫し、より楽しむことができるようにする。	・身近な動物の飼育や栽培活動を通して、動植物の育つ場所、変化や成長について考え、タブレットを使用する等の様々な方法で表せるようにする。 ・試行錯誤や創意工夫ができる単元設定、学習活動の設定を行い、思考場面や表現のツールを増やす。	・自分たちの生活のできごとを身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々と関わる楽しさが分かり、すすんで交流できるようにする。